

水難救助隊の発足にあたり 訓練成果を披露

4月1日の水難救助隊発足にあたり、これまで3年間にわたる訓練の成果を濱田市長や海上保安部長など関係者に披露するため、3月24日に小松島港新港岸壁で水難救助訓練「市長査閲」が執り行われました。

訓練では、市の消防職員で構成する水難救助隊がウェットスーツや空気ボンベなどを装着し、水中に沈めた訓練用の人形を潜水活動で捜し出し、また陸上からはクレーンなどを使った救助訓練が本番さながらに実施されました。

濱田市長は訓練終了後の講評で「水害等から市民の命を守るため、水難救助隊は必要とされている。今後も関係機関と行政が連携を密にし、万が一の発災時には訓練の成果を生かし、迅速かつ的確な対応をお願いしたい。」と述べました。



潜水器具を装着した水難救助隊



水難救助訓練の様子



謝恩記念式典に詰め掛けた市民らに
あいさつを述べる濱田市長

市営バス公営事業廃止 64年間の歴史に幕を閉じる

3月31日、市営バス事務所前で「小松島市営バス公営事業廃止 謝恩記念式典」が執り行われました。

昭和26年度より64年間、市民の足として親しまれた市営バスは、3月末をもって運行を終了し、4月1日から徳島バスが市営バスの路線を引き継ぎ運行しています。

謝恩記念式典では、市営バスの誕生やこれまでのあゆみが写真などで展示されたほか、濱田市長など関係者が乗り込んだ記念臨時最終便が運行し、式典に詰め掛けた市民らは名残を惜しんでいました。

とくしまマラソン2015 市内事業所の有志らがランナーを応援

1万人のランナーが春の阿波路を駆け抜けた「とくしまマラソン2015」が3月22日に開催され、東とくしま農業協同組合や徳島赤十字病院、小松島市役所に勤める有志で結成したボランティア隊が沿道の応援に参加しました。

ボランティア隊は、市内企業の協賛により提供された飲料水やイチゴ、お菓子などを約5千人のランナーに手渡し、声援を送っていました。



34km地点でランナーに飲料水などを
手渡し応援するボランティア隊